

環境にやさしい建築物

代表取締役会長 松川 清伯

近年、地球温暖化、資源枯渇、大気汚染など地球環境の危機が叫ばれています。豊かな自然を次世代に残すため、持続可能な社会の建設が私たちに求められています。特に建築関係の分野における環境への影響は大きく、日本の全産業から排出されるCO₂の3分の1が建築物の建設から解体に至るまでの資材の製造および建設工事や完成後の建物で使用される電気・ガス・水道等によるものと推計されています。そのため、次の5つのテーマを柱として、環境にやさしい建築物の設計を行ってまいります。

- 1. 建物と周辺環境の調和**
屋上緑化および壁面緑化、地中への雨水の浸透。
- 2. エネルギーの無駄を省く工夫**
自然エネルギーを利用する。遮熱・自然採光・自然換気・雨水利用・太陽光発電・太陽熱利用など。
- 3. 建物の長寿命化**
耐久性やゆとりを確保するなど建物の生涯管理を充実することで建築物の長期利用を可能にし、ライフサイクルコストを抑える。
- 4. 無駄のない資材・資源利用**
資材を繰り返し使う、リサイクル材の活用、低環境負荷材の使用。
- 5. 廃棄物の適正処理・循環利用**
排出物・残材等の適切な処理、建設副産物の減量化および再資源化を図る。

あけましておめでとうございます。

野原 智子

昨年色々ありましたが、無事新しい年を平穏に迎える事が出来ました。特別な事の何もない普通の生活を過ごせるという事がとても素晴らしいことなんだと分かる歳になりました。昨年暮れに父親の敬老会に同行した際、プログラムを

見ると健康体操という項目があり、舞台上でやる事なのか?と思いながら見学していました。しかし、いざそのプログラムが始まると、先輩方のあまりにスムーズな動きに衝撃を受けている自分がいました。今の私のその歳を想像してみても到底不可能…いやいや今でも無理だ。すごい…このままではいけないのでは…。という事で今年は少し身体を鍛え直す事を考えようかと思ひます。身の丈にあったスポーツ?太極拳又はヨガを始めてみようか…な!?

変化するバレエ

安里 佳菜

昨年秋の連休に、祖母からバレエのチケットを譲って頂き、叔母と共に鑑賞してきました。演目は「白鳥の湖」、会場は札幌文化芸術劇場hitaruです。写真の様に、かなり広いホワイエが各階にあります。大きな会場だけに、のんびり寛げるスペースも大きいようです。会場で渡されたパンフレットには大体のあらすじが記載されており、内容の確認ができます。(ストーリーを知らなかったで大変助かりました…)ダンサーは軽やかな動きと共に、体全体で感情を表現するので、ついつい見入ってしまいます。オーケストラの音楽と演者の足音のみが響き渡る時間は、長いようで一瞬だったように思えます。公演中は様々な舞台機材や小道具が用いられますが、中でも驚いたのはプロジェクションマッピングです。今回はカーテンレースの様に透けた舞台幕にプロジェクションマッピングを用いて場景を映すことで、場面の移り変わりを表現していました。祖母によると、昔は湖の場面の表現したい場合、鳥の模型を舞台袖から糸で引っ張り、舞台上で滑らせることで、まるで鳥

が泳いでいるかのように表現していたそうです。想像すると少しシュールだなあと笑ってしまいました(笑)さらに技術が進めば、今後のバレエの演出も少しずつ変わっていくのでしょうか。また改めて見に行きたいと思ひます。

ところで会場にはバレエ経験者の子供たちの姿がちらほらと窺えました。もしかしたら、この子たちは未来のバレエダンサーになるのかなあと微笑ましく思う昨年の思い出でした。



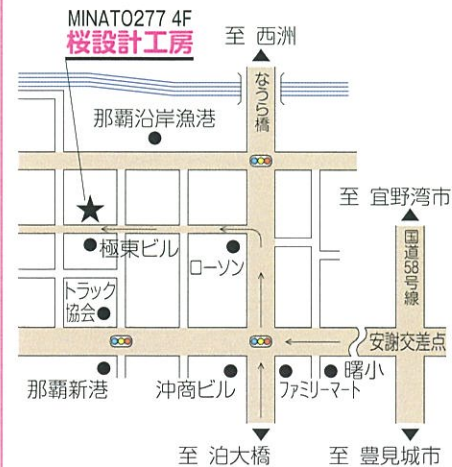
発行所/ (有)桜設計工房
所在地/ 那覇市港町2-7-7
みなと277 4F
電話/ 098 (867) 5987
FAX/ 098 (863) 7690
E-mail: info@sakura39.biz
http://www.sakura39.biz
発行人/ 喜名 英之

西原支店/ 西原町小波津233-16
電話/ 098 (946) 5066
FAX/ 098 (863) 7690
宜野座支店/ 宜野座村字惣慶1829-2
電話・FAX/ 098 (968) 7222

創業/ 昭和61年7月1日
営業種目

- * 建築企画設計・監理業務
- * 特殊建築物等調査・検査報告
- * 耐力度調査
- * 耐震診断・改修設計監理業務
- * 補償コンサルタント業務

企業理念 = 私達は、誇り、使命感を持って顧客の信頼を第一とします。その上で人と自然が共存し、豊かな地球環境を創造して社会の発展に貢献します。さらに建築設計を通して感動、満足、安心を与え、明日への夢と希望を提供します。



年頭挨拶



(有)桜設計工房
代表取締役社長 喜名 英之

あけましておめでとうございます。年末年始は例年よりも暖かな陽気で、忘年会、新年会に向かう車でクーラーを入れたり、会場でも暖房ではなく、冷房が稼働している所もありました。年々寒いと感じる期間が短くなっているように思えるのは増える脂肪のせいだけではなさそうです。

さて、2019年は変化の多い年になりそうです。5月には天皇の退位、即位に伴い元号が変わります。新元号は「大化」から248番目となるそうです。4月1日に公表されますが、印刷物、公文書等の対応が必要になります。また19年のゴールデンウィークは10連休になる見通しです。19年後半の最大のトピックは消費税増税でしょう。軽減税率制度が導入されますが現行の8%から10%に引き上げられます。今回も駆け込み需要とその反動減による景気変動が予想されます。

沖縄県においてはゆいレールが首里からてだこ浦西までの4.1km延伸が完了し19年春の開業を予定しています。石嶺駅、経塚駅、前田駅、てだこ浦西駅の4駅が誕生します。

また、夏には現在建設中の浦添西海岸に沖縄県最大の商業施設サンエーパルコシティが開業します。イオンモール沖縄ライカムを超える店舗面積とシネマコンプレックスを併設し、今後の第2ステージでは国内外の観光客需要に対応するリゾートホテルや人工ビーチの開発も検討されているようです。同じく夏に沖縄初出店予定なのがセブンイレブンです。惣菜、デザート工場を建設中で商品提供の体制を整え、1年で50店舗以上を目指すとのこと。他にもハワイを代表するラグジュアリーホテル「ハレクラニ」をはじめ、多数のホテルが開業予定です。観光客数も900万人を超え、県が目指す1000万人に迫る勢いです。

2019年も沖縄県は順風満帆に成長すると期待したい所ですが、懸念材料もあります。ここ数年いわれている人手不足、材料高騰で小規模の工事の施工者が不足しています。最近も鉄骨の接点を止める高力ボルトの不足で工事の延滞、着工延期に陥る物件があります。また、離島では職人、技術者の宿泊施設が満杯で工程に影響が出たり、アパートの家賃が高騰しているとのこと。インフラ整備も必要とされており、那覇空港の第2滑走路が12月の完成、20年3月供用予定ですが十分では無いようです。他にもクルーズ船の寄港が可能な港の不足等、懸念材料はありますが、たくさんのチャンスもありそうです。今後の問題への対応は今まで経験したことは異なる対策をとる必要がありそうですが、我々桜設計工房も時代の変化に対応しつねに自社の理念「思いを形に、喜びと感動を」の自社スタッフとお客様と共有し、飛躍したいと考えております。

謹賀新年



「年始の思い」

専務取締役 大城 哲男

新しい年が始まった。「亥年」生まれの私にとって今年
は「節目の年」でもある。社会人となって40年余が経過、
子供三人のうち二人が社会人となり肩の荷が少し軽くなり
楽になってきたが、それと同時期に「五十肩」が発症、
自身の腕さえ持つのがつらい日々を昨年過ごした。そ
して年末の検診で告げられたのが、前立腺が少々腫れて
いますね…のまさかの通告。おしっこが近くなってな
いのですかと尋ねてきたので、そんなことはありません
とさっぱり答えたが、正月の気温が下がった時期にトイ
シが近くなったかなと…。気のせいでもありますように
願いつつ、「亥年（還暦）の厄年」へと突入していく。
体調に変化が表れてきたり、色々なことが起こりや

すい年齢になってきた。くれぐれも身の回りのことに注
意しなければと思った。

ところで「亥年」は、新たな種の成長に備えて、自分
を磨いたり、目標に向けて準備するための1年でもある
そうです。何事にも粘り強く接し、いつの日かやって来
るであろう大切な時に
向けて、しっかりと自分
の意思を貫き、熱心に
物事を進めながら、
健康にも留意し、1年
を乗り切っていこうと
心に決めた。これが私
の年始の思いである。



骨折：エピソード2

島 正道

先生の診断によると、「右ヒザの骨は幸いにしてズレて
いないので手術は無い」との事。初めての骨折でビビッ
ている私にとっては、まさに「地獄に仏」嬉しい診断であ
る。希望であれば入院しても、自宅療養しても構わないと
の事とお言葉も頂き、とりあえず入院を選択し、晴れて
人生初の入院患者となった。

普通に歩けない事での不便な事。右足全体を包帯巻き状
態での不自由な事。基本ベッドの上での生活は時間が過ぎ
るのが異常に遅く感じる為、ただ眠る事で時間を忘れよ
うとする生活。辛い、ここから抜け出したいと考えるまで
に2日かからなかった。

病院内の移動はもちろん車イス。車イス生活の当事者に
なってみて、バリアフリー法の存在意義の素晴らしさに新
たに気付いた。段差無し、多目的トイレ、廊下の手摺り等
の利便性に感謝。退院したいが自宅療養を想定してみる

と、我が家は玄関から段差15cm程あり、手摺り無し、寝
床は畳に布団敷き、病院内のバリアフリー空間とは真逆の
バリアだらけの空間だ。最初は想定するだけで自宅療養は
断念したが、数日過ぎた頃には、ただじっとしている入院
生活の苦痛から抜けたいが為、自分に都合の良い設定を先
生に説明し、うまく退院許可を頂いた。

退院の際に右足全てを本格的なギプスで処置を施され、
右足が硬直状態に（右足の自由が仮ギプスより無くなって
いる）ヤバイ!?と試してみたものの、時すでに遅し。退院
手続きを済ませ、もう入院
生活は勘弁だとの心の叫び
が勝り、7日目にして退院
をする事ができた。

やっと、自宅に戻れる！
俺は間違っていない！ナイス
判断だ！と思ったのは帰路
に着くまで…。想定外の自
宅療養の日々が待っていた
のであった…。



おみくじ

伊禮奈津子

今年のおみくじは、久しぶりに「大吉」を引きまし
た。良いくじは持ち歩いて読み返したほうが良いと聞い
たこともあり持ち帰ることにしました。

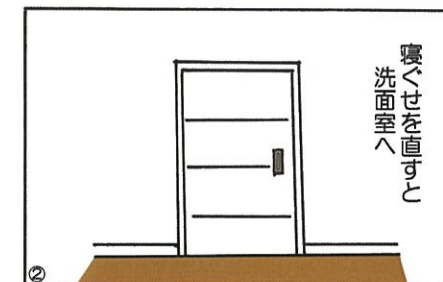
神社で引いた直後は、じっくり読んでいなくてイン
パクトのある内容だけを記憶に留めていましたが、改めて
読んでみると神の教えには日々の忘れがちなことが書か
れてあったり、和歌には今年はこの年になるのかなっ
てイメージができるような感じの歌になっていました。

今まで、サラッと流していた文面でしたが興味深くて定期的
に読み返していこうと思いました。

ちなみに、おみくじを引いた場所で結んでお願いする
ことも神様と縁を結ぶという意味らしいので、それ
もご利益がありそうです。また、悪いおみくじは
利き腕と反対の手で結べば困難な行いを達成
することで吉に転じるという説もあるよう
です。



寝ぐせ 作画：崎原利克



昭和も遠くなりにはけり

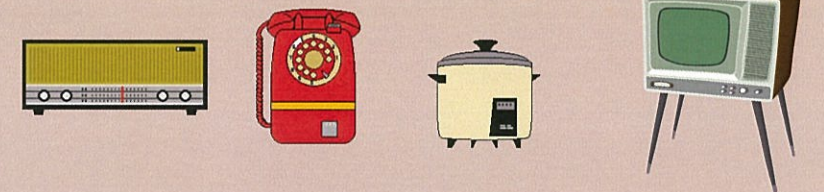
宜野座支店長 平田 努

昭和の御代に、明治は遠くなりにはけり、と時代の変遷をなげく先
輩達がいましたが今、まさに昭和生まれの私たちが、昭和、平成、そ
して新年号を体現しようとしています。明治は遠くなりにはけり、と嘆
いていた先達の皆様のお気持ちが、なんとかなしに察しられる様な気
がいたします。激動の明治維新をへて、大正デモクラシー、昭和は痛恨
の太平洋戦争の敗戦をへて、奇跡の経済復興を成し遂げた。明治、大正
の人達にとっては、日本の美徳や文化が西洋化されていく戦後昭和のす
がたに抗いようもなく、ただただ、昭和の色が濃くなり、あたかも明治も大正も、戦争が無かったかの様
な昭和の姿に、明治は遠くなりにはけりと言ったので有りましょう。



平成も30年と言う年月がたち、今年より新年号が始まる事となり、
平成の話題がマスコミの一方通行で流され続けています。昭和の影が
だんだんどうすくなり、昭和も遠くなりにはけりとなるのでしょうか。

平成の時代におきた、通信の革命は世の中を激変させ、私たち昭和
世代もなんとか、かんとかつて来ましたが、これから先の未来の技
術革新は如何なる事に相なりますか、まずはお楽しみと言う事にいた
します。



初詣のお話

上原 麗奈

新年おめでとございます。去年やり残したことがな
いか身の回りを確認しつつ、気持ち新たに良い歳を迎え
ることが出来ました。最近では初詣さえ人混みの多い三
が日避けるお年頃…。私にとって新たなスタートを
切った2019年ですので一念発起し、1月2日の昼過ぎに
行ってみることにしました。ところが現地につくと、や
はり予想を超える長蛇の列…。そこへ私の神様が耳元で
言いました。「参拝するのに並んでまでしなくていいん
だよ、1月中の気が向いた日においで^^」と。なんてい
い神様なんだと都合のいいような解釈しておき、日付を
改めたくらうで、ようやく並ばない参拝を済ませることが
できました。後から知ったことですが、神社へお参りに
行った際、神様より歓迎されている合図があるのだそ

う。神社に着いて早々小雨に見舞われる、または雨が止
む。賽銭を投げて願い事を唱えようとする正面より風
が吹く。蝶が飛んでいる。人払いが起こる（賽銭箱周辺
の人がさっといなくなり、スムーズに祈願できる）など
など。なんと！思い起こせば私の場合、小雨が止み、人
払いができていました！！（私の後ろには5組ほど並ん
でおられました。）誰もいないからお賽銭に向かった
だけで、その時は、ラッキー☆としか思っていません
でした。それはきっと人払いだと思わずにはいられませ
ん。神様に歓迎されて今年はいい歳になりそうだと思
ったのも束の間…。当日一緒に行けなかった母親の為
に買ったお守りが、まさかの干支違いという大変無礼な失
態を犯してしまったことを…後々知ることになる…。

(-_-;) よい歳になりますように (苦笑)